# 研究実施のお知らせ

2026 年 9 月 16 日 ver.1.1

## 研究課題名

がん患者におけるジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤開始後の腎機能および疼痛の変化推移に関する検討

## 研究の対象となる方

2021 年 8 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日の間に、島根大学医学部附属病院でがん疼痛に対してジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤（商品名：ジクトルテープ）を新しく使用された 18 歳以上の方。

## 研究の目的・意義

ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤は、がん疼痛の治療に使用される非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）です。NSAIDs は腎臓の血流に影響し、腎機能が低下することがあります。ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤は貼り薬ですが、腎機能に影響する可能性があるため、使用後の腎機能を確認することが重要です。

しかし、ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤を使い始めたがん患者さんで、腎機能がどのように変化するかについては十分に分かっていません。本研究では、本製剤を使い始める前後の腎機能と痛みの変化を調べ、どの様な患者さんで腎機能が低下しやすいか、また使い始める時点の腎機能がどの程度であれば腎機能の低下が起こりにくいかを検討します。これにより、腎機能に配慮したがん疼痛治療に役立つ知見が得られることが期待されます。

## 研究の方法

この研究では、島根大学医学部附属病院の電子カルテの記録（既存の診療情報）を用いて、対象となる患者さんの情報（年齢、性別、身長・体重、併存疾患、がん種、ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用期間や使用量、痛みの程度（NRS）、併用薬、抗がん剤・放射線治療・手術・造影剤検査など腎機能に影響を与える可能性のある治療歴、血液検査値や尿検査値など）を収集し、統計学的な解析を行います。この研究で得られた患者さんの情報は、氏名や患者 ID などの個人を識別できる情報をすべて削除し、個人の特定ができない状態（識別番号の付与）で取り扱います。収集したデータと患者さんを結びつける研究対象者リストは、収集データとは完全に分離して研究責任者が厳重に保管し、外部への持ち出しは行いません。また、収集したデータは島根大学のみで取り扱われます。なお、本研究に携わるすべての研究者は、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫

理指針」を遵守して研究を実施します。

研究の期間

2026 年 10 月 29 日から 2028 年 12 月 31 日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。
研究責任者：
島根大学医学部附属病院 薬剤部　矢野 貴久

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は 2027 年 4 月 30 日までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：
島根大学医学部附属病院 薬剤部　矢野 貴久
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2465